

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	コード	01-03-01	作 成 者	都市整備課長 平田惣己治 電話 64-1833
		このシート作成に要した時間		2.5 時間	

この施策の アピール ポイント	大雨による洪水・土砂災害から市民の生命・財産を守る。
-----------------------	----------------------------

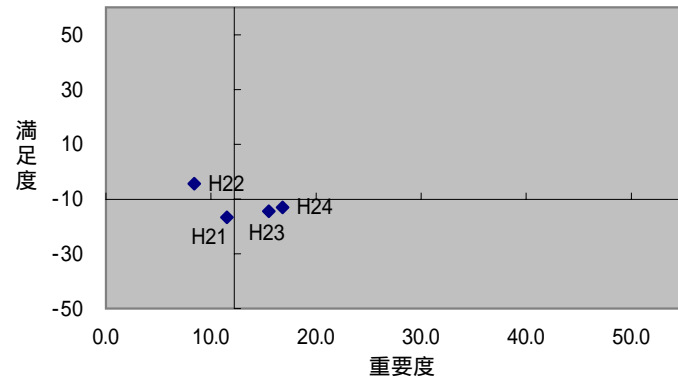
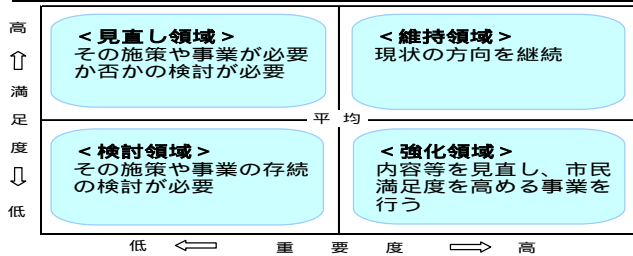
この施策の 平成23年度の 施政方針	河川改修についてであります。緊急性、安全性を考え、自然環境に配慮しつつ浚渫等を含めた整備を進めてまいります。また、県の管理河川についても、改修、浚渫等について要望してまいります。
--------------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の生命・財産を、洪水・土砂災害から守る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮により大災害を受けたが、国・県・市及び地域住民が一体となって災害復旧に取り組み、一定の成果をあげることが出来た。しかし、まだ多くの箇所自然護岸や老朽石積等未整備箇所があることから、今後、国・県の協力を得て、計画的な河川整備を図り、再び災害を受けることのないよう万全の対策をとることが必要である。また、急傾斜地や土石流危険渓流のうち、法の未指定地については新たに区域指定を受け、整備する必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川については、年次的な改修を県に要望していく。 市管理河川の年次的・計画的な整備を促進する。 急傾斜地崩壊対策事業については県事業として整備が進められているが、整備済みの箇所でも老朽化に伴う改修が必要な箇所もあることから、危険度の高い箇所から対策工事などの実施を県に要望する。 . . . 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	11.5	8.4	15.5	16.8
満足度(%)	-16.7	-4.4	-14.5	-13.1



調査結果に対するコメント、市民の反応等	災害対策に直結することから、要望が多く重要度も高いといえるが、未整備箇所・要望箇所の多さに対して整備が追いついていない状況が調査結果に顕れているものと思える
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単 位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 河川改良箇所	目標	箇所	20	20	20	前年度より多く	H24	20
	実績	箇所	8	10	8		H28	20
	達成率	%	40.0	50.0	40.0		-	-
	ベンチマーク							
参考指標 市民からの要望への対応 (修繕箇所数)	目標	箇所	60	60	60	前年度より多く	H24	60
	実績	箇所	41	34	30		H28	60
	達成率	%	68.3	56.7	50.0		-	-
	ベンチマーク							
参考指標 ボランティア参加団体年間活動回数	目標	回	180	180	180	参加団体の活動回数を増やす	H24	180
	実績	回	195	195	187		H28	200
	達成率	%	108.3	108.3	103.9		-	-
	ベンチマーク							
参考指標	目標						H24	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク							

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効率的整備と効果の早期発現が期待できコストも縮減できる

施策の評価

項 目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判 断 理 由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	河川改修を進めていくうえで、改修率の指標は妥当。修繕要望に対する実施率及びボランティア参加団体数は維持管理上の指標として妥当。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	概ね妥当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	不確定な要因が多く目標達成は厳しいが、着実に整備を進めていく。	
進行年度(H24年度)の取組内容 (課題解決状況)		継続中の改修工事を優先的に整備する。また溢水、破堤など危険箇所の局所改修を優先的に実施する。	
翌年度(H25年度)の取組目標		ボランティア団体数は年々増加しているが、今後は、吉永地域・日生地域での増加を図るとともに、市民との協働による適正な維持管理を進めていく。	
二次評価者コメント		防災面からの計画的且つ継続的な施設改修を促進するとともに、継続事業としての香登川の早期整備、地区要望の多い河川浚渫工事实施の要件整備を進めて下さい。施設管理におけるボランティア団体の参加については、経費の削減と住民意識向上の点でもメリットが多く、今後も全体的な協力を得られるように努めてください。	基本施策への 貢献度 4 やや高い
役職 産業部長 氏名 高橋昌弘			

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 県河川維持管理事業	樋門等管理委託事務	補助	435	169	0.02	435			435	208	0.02	435	
	吉井川下流改修促進協力会負担金	単市	29	0	0.00	29	112	0.01	29			29	
	ダム所在市町村全国協議会負担金	単市	5	0	0.00	5			4			5	
	河川維持管理要望事務	単市	0	311	0.03		294	0.03		871	0.10	330	
2 河川改良事業	河川改良事業	補助	17,655	5,344	0.84	121,090	5,765	78.00	69,563	4,072	0.57	68,069	
3 河川維持管理事業	河川維持管理事業	単市	10,356	1,960	0.26	12,195	2,654	0.30	12,359	4,568	0.73	9,743	
4 急傾斜地崩壊対策事業	急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金	単市	0	93	0.01	0	0	0.00					
	急傾斜地崩壊対策事業要望事務	単市	0	0	0.00	0	319	0.03		313	0.03	3,000	
5 災害復旧事業	災害復旧事業	法定	11,160	1,856	0.34	0	155	0.02	11,371	1,726	0.21		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			39,640	9,733	1.50	133,754	9,299	78.39	93,761	11,758	1.66	81,611	